

### 3 - 5 関東地方の地殻変動 Crustal Movement in Kanto

国土地理院  
Geographical Survey Institute

第1図は鹿野山地区の精密変歪測量結果である。この半年間に測量誤差を超える変動はなかった。第2図は松戸地区の精密変歪測量結果であるが、測量誤差を上回る変動はない。

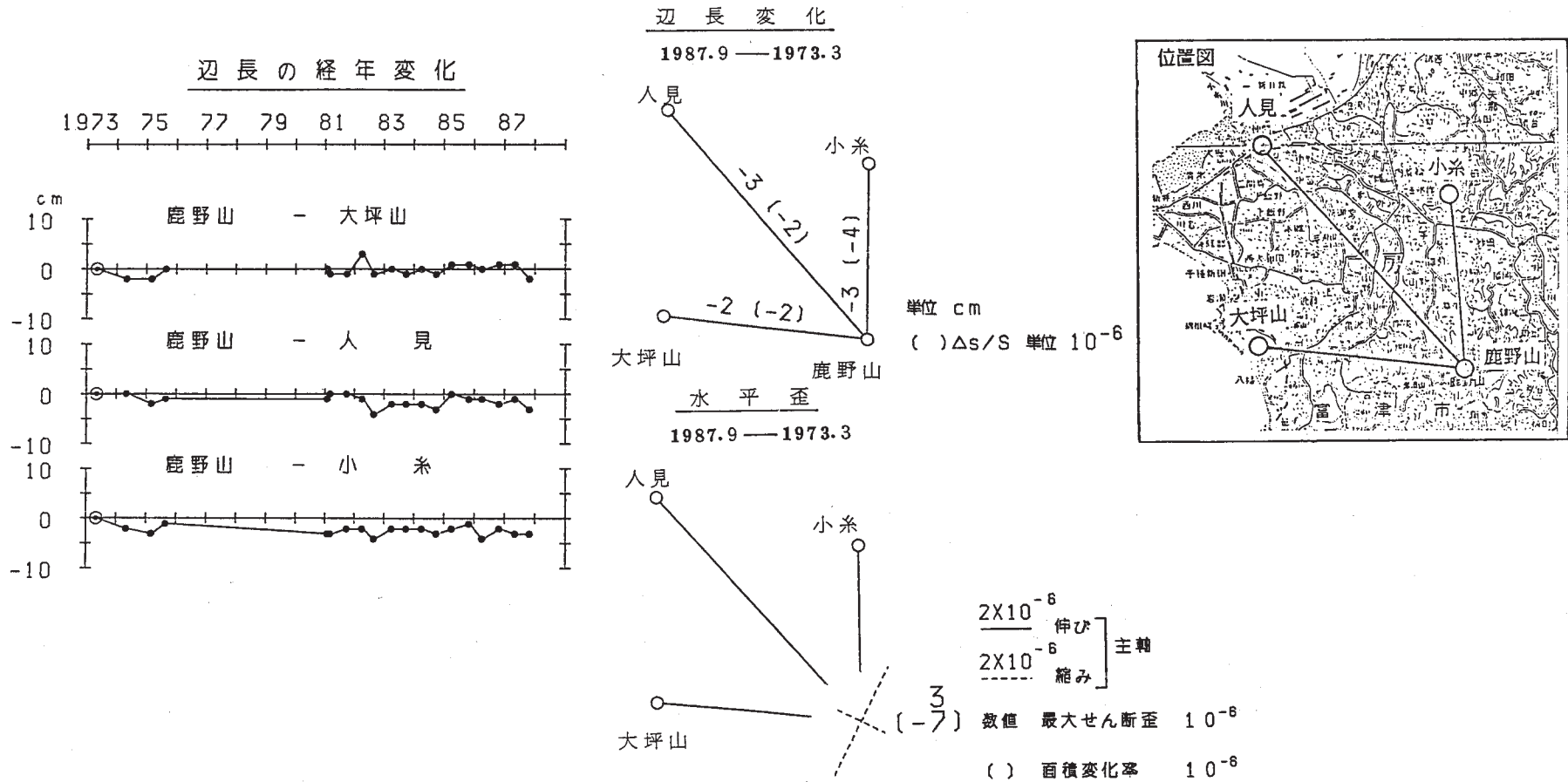
第3図は三浦半島西海岸の水準測量結果である。1年前の同時期の変動に比べて、今回の変動はかなり大きい。

第4図は関東地方における水準測量の網平均結果で、東北地方南部を含めて平均計算したものである。図中、新潟付近やいわき地方の隆起、越谷付近及び茂原付近では、沈下がみられる。これらは、地盤沈下に関係している。伊東及び銚子付近では隆起がみられる。第5図は第4図の内、関東地方南部だけで網平均した結果である。第4図に比べて、房総半島の変動量がやや小さくなっている。第4図と第5図の差は、誤差を示すものと見なしてよい。

#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院：関東・東北地方の上下変動，連絡会報，**29** (1983)，107 - 110.
- 2) 国土地理院：関東地方の上下変動，連絡会報，**33** (1985)，144 - 155.
- 3) 国土地理院：北関東地方の地殻変動，連絡会報，**34** (1985)，127 - 137.
- 4) 国土地理院：関東地方の地殻変動，連絡会報，**35** (1985)，153 - 158.
- 5) 国土地理院：関東地方の地殻変動，連絡会報，**36** (1986)，102 - 127.
- 6) 国土地理院：関東地方の地殻変動，連絡会報，**37** (1987)，136 - 143.
- 7) 国土地理院：関東地方の地殻変動，連絡会報，**38** (1987)，166 - 182.
- 8) 国土地理院：東北地方の上下変動，連絡会報，**39** (1988)，71 - 75.

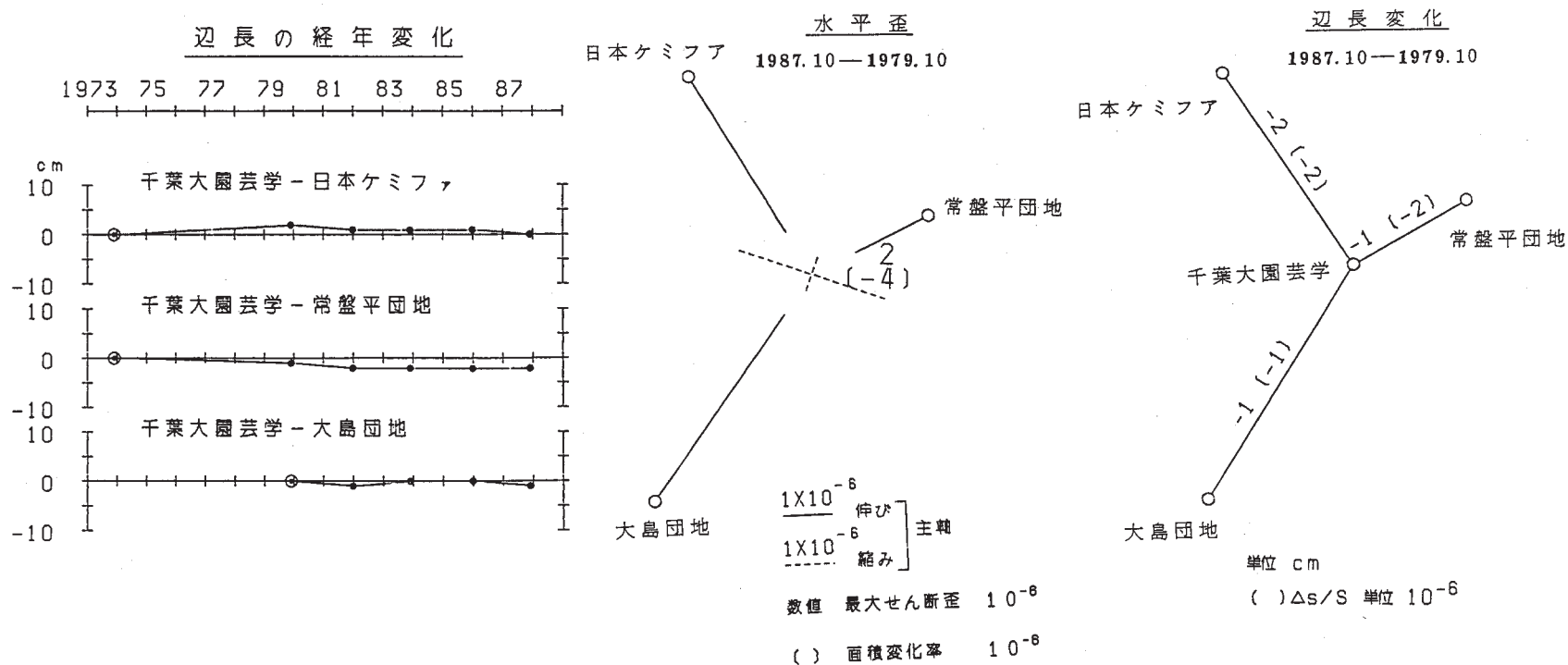
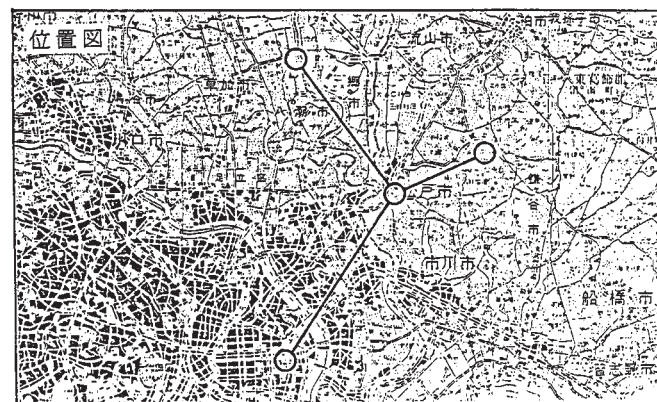
測定年月 区 間	1973	74	75	75	80	81	81	82	82	83	83	84	84	85	85	86	86	87	87
	. 3	. 3	. 1	. 7	.12	. 1	. 8	. 2	. 7	. 2	. 8	. 2	. 8	. 2	. 9	. 2	. 9	. 3	. 9
鹿野山 — 大坪山	8194.88	m.86	m.86	m.88	m.88	m.87	m.87	m.91	m.87	m.88	m.87	m.88	m.87	m.89	m.89	m.88	m.89	m.89	m.86
鹿野山 — 人見	12152.59	.59	.57	.58	.58	.59	.59	.58	.55	.57	.57	.57	.56	.59	.58	.58	.57	.58	.56
鹿野山 — 小糸	7032.70	.68	.67	.69	.67	.67	.68	.68	.66	.68	.68	.68	.67	.68	.69	.66	.68	.67	.67



第1図 鹿野山地区精密変歪測量結果

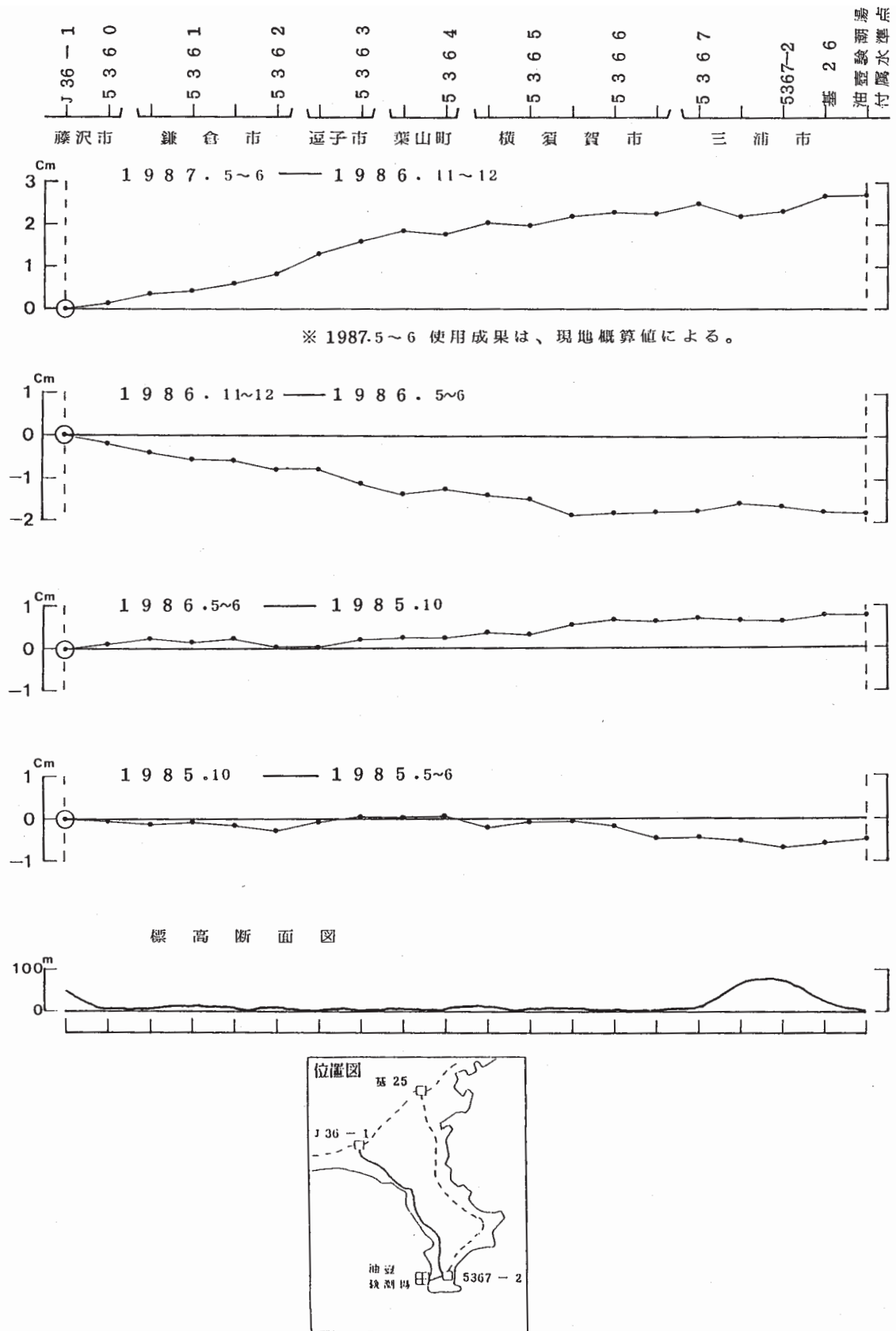
Fig. 1 Results of precise distance measurements at the Kanouzan Radial Baselines.

測定年 区 間	測定年					
	1973.10	79.10	81.11	83.10	85.11	87.10
千葉大園芸学—日本ケミファ	9451.48	<sup>m</sup> .50	<sup>m</sup> .49	<sup>m</sup> .49	<sup>m</sup> .49	<sup>m</sup> .48
千葉大園芸学—常盤平団地	5283.44	.43	.42	.42	.42	.42
千葉大園芸学—大島団地	11185.	.66	.65	.66	.66	.65



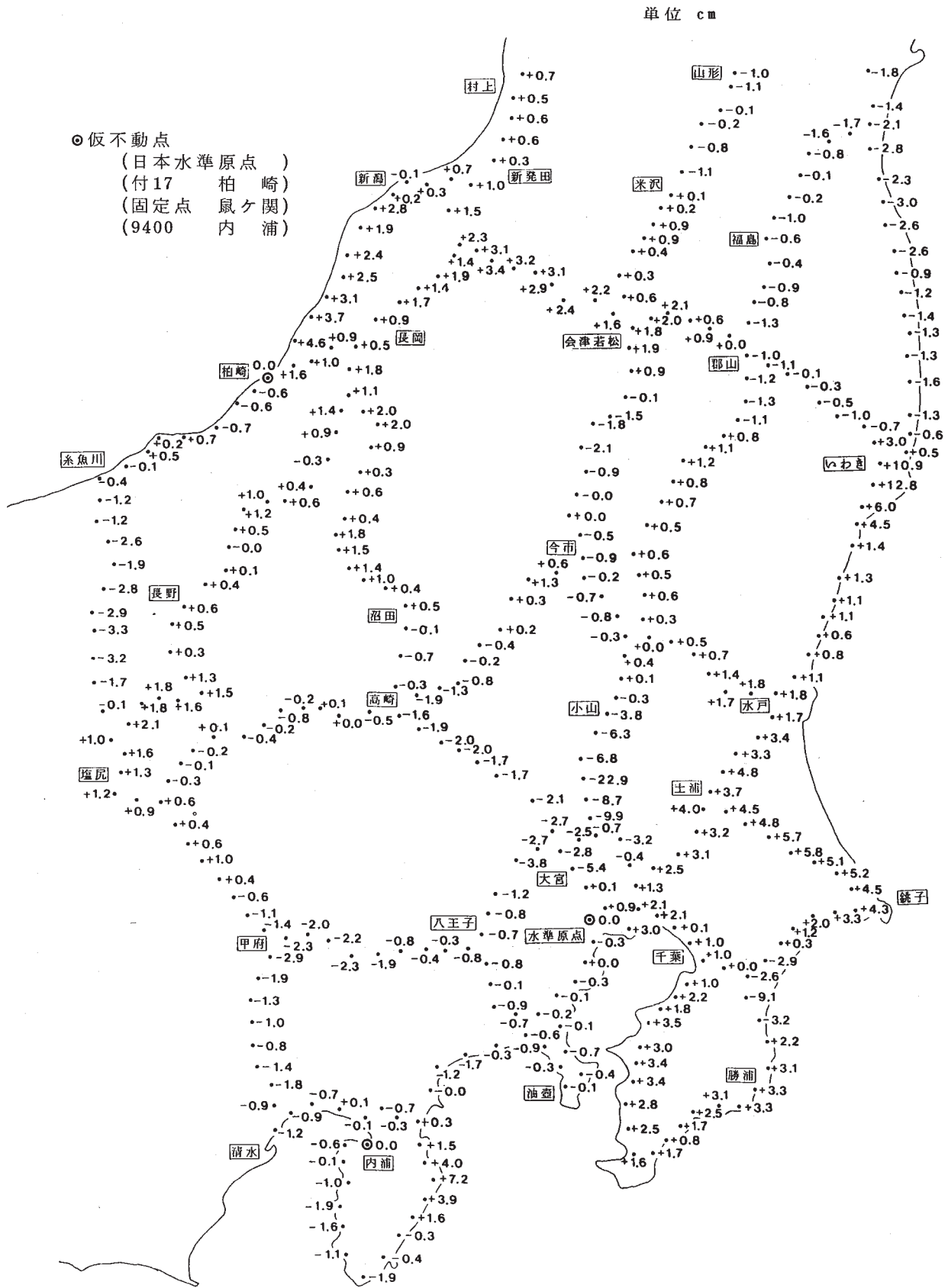
第2図 松戸地区精密変歪測量結果

Fig. 2 Results of precise distance measurements at the Matsudo Radial Baselines.



第 3 図 三浦半島西海岸の上下変動

Fig. 3 Level changes along the west coast of the Miura Peninsula.



第4図 関東地方の上下変動

Fig. 4 Vertical movement in Kanto.

